



注意！「サポート詐欺」に気を付けて！

サポート詐欺とは、Webサイト閲覧中に突然モニター上に「ウイルスに感染した」、「セキュリティ警告」等の文字と電話番号を表示されて偽のサポートセンターに電話をかけるよう誘導され、有償サポート契約と称して金銭を要求したり、クレジットカード番号等の情報をだまし取る詐欺の手口です。

特徴をよく知り、被害に遭わないように注意しましょう。

サポート詐欺の流れ(一例)

- ①Webサイト閲覧中に「ウイルスに感染した」、「セキュリティ警告」等の文字や、サポートセンターと称した電話番号を表示する。
- ②表示された番号に電話をしてしまうと、遠隔操作ソフトを使用し、あたかもパソコンの診断をしているかのように装い、ウイルスに感染していると虚偽の説明で不安をあおり、有償サポート契約を結ばせようとする。
- ③サポート契約代金の支払いと称して、クレジットカード番号を入力させたり、GooglePlayギフトカード、Amazonギフトカード、iTunesギフトカード等のプリペイドカードで代金を要求する。

対策

- 警告画面を閉じる。

Webサイトの閲覧中に見慣れない警告画面が表示された際は、まず詐欺を疑いましょう。中にはウインドウを閉じても再度ウインドウが表示される場合もありますので、その際はパソコンを再起動しましょう。

- 電話番号を調べる。

偽の警告画面に表示されている電話番号をインターネットで検索すると、詐欺で使用されている電話番号であることが判明する場合があります。

- ウイルス対策ソフトを導入する。

ウイルス対策ソフトによっては、詐欺サイト等をブロックする機能が搭載されているものもあります。ウイルス対策ソフトによってブロックされると、パソコンは詐欺サイトに接続できなくなり、被害を防止してくれます。

被害に関する相談は「**サイバー犯罪情報・被害相談専用電話**」又は最寄りの警察署へ

▼サイバー犯罪情報・被害相談専用電話▼

080-2350-0001（平日午前8時30分から午後5時15分まで）